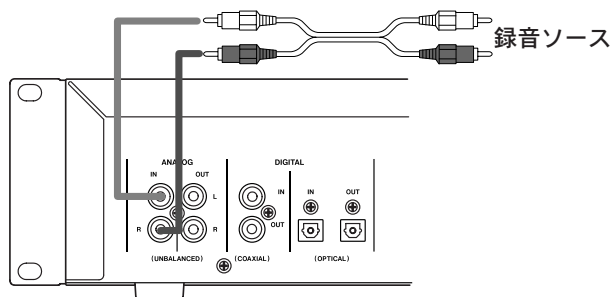


この度は TASCAM CD-RW900SL/CD-RW901SL をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このクイックスタートガイドでは、今すぐ CD-RW900SL/CD-RW901SL をお使いいただけるよう、アナログ信号をソースとして CD-R ディスクに録音する場合を例に、簡単な使い方のみを説明しています。その他の詳しい操作方法については取扱説明書をお読み下さい。

※本文中、[A.TRACK] のように [ ] で囲まれている表記は、ディスプレイのインジケータを表します。“TOC Reading” のように “ ” で囲まれている表記は、ディスプレイに表示される文字を表します。

## 1. 接続する

リアパネルの ANALOG IN に録音ソースを接続します。



お手持ちのステレオに接続する場合は、本機の ANALOG IN をステレオの TAPE OUT に、ANALOG OUT をステレオの TAPE IN に接続します。

※ お手持ちのステレオと接続する場合、端子の名前やステレオでの操作は、ご使用の機種によって違う場合があります。ステレオとの接続方法、操作については、ステレオの取扱説明書をお読み下さい。

※ レコードプレーヤーを直接 ANALOG IN に接続して録音することもできますが、その場合、レコードプレーヤーにフォノイコライザーが内蔵されている必要があります。レコードプレーヤーにフォノイコライザーが内蔵されていない場合は、本機とレコードプレーヤー間に、フォノイコライザーを搭載したアンプが必要です。お手持ちのレコードプレーヤーがフォノイコライザーを内蔵しているかどうかは、レコードプレーヤーの取扱説明書でご確認ください。

## 2. 電源を入れる

電源コードをつないで、接続しているステレオのボリュームが下がっていることを確認して、本機のパワースイッチを押し込みます。

## 3. ディスクを入れる

ディスク挿入口に新品の CD-R ディスクを挿入して下さい。

ディスプレイに “TOC Reading” と表示された後 “Blank Disc” と表示されます。

※ 新品でないディスクを挿入した場合は “Blank Disc” とは表示されず、ディスクに録音されているトラック数とトータル時間が表示されます。

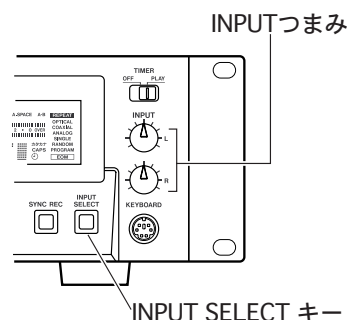
※ ディスプレイの左上に [TOC] 表示が赤く点灯する場合、そのディスクはファイナライズ済みで録音できません。

## 4. 入力ソースの選択

INPUT SELECT キーを押して “Analog” を選択します。

INPUT SELECT キーを押すたびに入力ソースが切り替わります。“Analog” を選択するとディスプレイ右に [ANALOG] と表示されます。

(CD-RW901SL では、INPUT SELECT キーを押して “Unbalance” を選択します。“Unbalance” を選択するとディスプレイ右に [ANALOG] と表示されます。)



## 5. 録音レベルの調整

5-1 RECORD キーを押して下さい。ディスプレイ左に [REC] が赤く点灯して録音待機状態になります。

※ RECORD キーを押したとき “Now OPC” と表示される場合があります。OPC は書き込み時のレーザーパワーをディスクに合わせて調整する機能で、調整中は “Now OPC” と表示されます。

5-2 録音ソースをスタートさせて録音レベルを調整します。録音レベルの調整は INPUT つまみで行います。

入力レベルの設定が大きすぎて、メーターが右に振り切れるような状態では音が歪んでしまいます。また、入力レベルの設定が小さすぎるとノイズの多い録音になってしまいます。メーターの表示が右いっぱいには振り切れない範囲で、なるべく大きな値に設定して下さい。

## 6. オートトラックの設定

たとえばレコードの片面をそのまま録音するとき、録音側の機器では、どこが曲の切れ目かを知る術はありませんので、そのまま録音すると全部の曲がつながった長い一つのトラックができてしまいます。オートトラック機能を使うと、録音時に無音が2秒以上続いた時に、そこを曲の間と判断し、そこで自動的にトラック番号を更新します。

6-1 MENUキーを押してメニューモードに入ります。

6-2 MULTI JOGを使って“REC?”を選択してMULTI JOGを押し込みます。

6-3 “A\_TRK?”を選択してMULTI JOGを押し込みます。

6-4 “Level”を選択してMULTI JOGを押し込みます。

ディスプレイに [A.TRACK] が表示されます。

- ※ クラシック音楽などで、静かな部分が長く続く場合や、前の曲と次の曲の間隔が短い場合、うまくトラックが更新されない場合があります。
- ※ スクラッチノイズ（パチパチノイズ）が多いレコードを録音する場合もオートトラックがうまく働かない場合があります。
- ※ オートトラック機能がうまく働かない場合は、オートトラック機能をオフにしてマニュアルでトラックを設定してください。録音中にRECORDキーを押すことでマニュアルでトラック番号を更新することができます。

## 7. 録音の実行

PLAYキーを押すと録音が始まります。

録音ソースを再生してください。

- ※ CDへの書き込みは大変デリケートな作業となりますので、録音中本体を揺らしたり振動を与えたりしないようにしてください。

録音停止するにはSTOPキーを押します。ディスプレイに“PMA Writing”が点滅表示された後、通常（CDを再生する）モードに戻ります。

録音したCD-RはPLAYキーを押すことで再生できます。

録音を再開する場合は、RECORDキーを押してPLAYキーを押します。

テープレコーダーとは違い、新しい録音は、録音済みのデータの後に続けて録音されます。

## 8. ファイナライズ

録音したCD-Rディスクを一般のCDプレーヤーで再生するためには、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行う必要があります。ファイナライズ処理をしていないディスクは本機で再生できますが、通常のCDプレーヤーでは再生できません。また、いったんファイナライズ処理を行ったCD-Rには追加の録音はできなくなります。

8-1 FINALIZEキーを押してください。

ディスプレイに“FINALIZE?”と表示されます。

8-2 MULTI JOGを押し込みます。

表示が“Sure?”に変わりますのでもう一度MULTI JOGを押し込みます。

ファイナライズ処理が始まります。ファイナライズには多少時間がかかります。

ファイナライズが終了するとディスプレイ左上に [TOC] が赤く点灯し、挿入されているディスクがファイナライズ済みであることを表示します。

## 9. 最後に

ここでは、アナログソースを録音して通常のCDプレーヤーで再生できるCDを作成する際の最低限の操作のみを説明しました。本機の性能を十分に引き出して、未長くご愛用いただくためにも、このクイックスタートガイドと合わせて必ず取扱説明書もお読みいただきますようお願いいたします。